



長門の話題

Topics

平成5年の開館以来、香月画伯の作品を多数展示

香月泰男美術館50万人突破

8月17日(土)、香月泰男美術館の入館者が50万人を突破し、記念セレモニーが行われました。
50万人目の入館者となったのは、兵庫県西宮市在住の阪口千鶴さん・博教さん夫婦。セレモニーでは、大西市長から花束と記念品として香月画伯の素描「コスモス」複製

画などが贈呈されました。阪口さん夫妻は「テレビでシベリヤシリーズを見たことはあるが、香月泰男美術館に来るのはこれが初めて。それが、記念すべき50万人目となったのでびっくりしています。これを機に香月泰男さんの作品をもっと見てみたい」と話していました。



▲50万人目は阪口千鶴さん・博教さん夫婦(兵庫県西宮市在住)



▲香月泰男美術館は平成5年10月25日に開館

11才のプロバイオリニスト、日本初登場

豊かな調べに酔いしれる

8月18日(日)、「愛子ハイディー・ディランちゃんの児童たちのためのシヨットリサイタル」がラポールゆやで開催されました。
愛子ハイディー・ディランちゃんは4才半でバイオリンを始め、8才にしてカーネギーホールデビューして注目を集めたプロバイオリニスト

で、日本での公演はこれが初めてのことです。シヨットリサイタルでは、愛子ハイディー・ディランちゃんがピアノ伴奏とともにドボルザークやバルトークなどが作曲した音楽など6曲をバイオリンで披露。情感のこもった豊かな調べに、来場者は酔いしれていました。



▲「ユーモレスク」「ルーマニア民族舞曲」など6曲を披露

夏バテ防止に効果、長門市の伝統野菜

白オクラのPRイベント

7月27日(土)、道の駅センザキッチンで白オクラのPRイベントが開催されました。

これは、旬を迎えた長門市の伝統野菜「白オクラ」が収穫時期を迎えたことから、認知度・ブランド力向上を目的に開催されたもので、白オクラの販売のほか、白オクラ

を使用して目の前で調理するライブクッキングや試食会なども行われました。

実際に白オクラを試食した県外在住の女性は「普通のオクラより粘り気が強くて美味しかった。夏バテ防止に良いというのも魅力的」と語りました。



▲白オクラの浅漬けはイベント開始20分で完売

8月18日(日)、観光まちづくりの取組が進む長門湯本温泉で、新たに進行中のリノベーション物件の内覧会が行われ、改装中の3件の物件について、各事業者からの事業紹介と途中経過の見学が行われました。

リノベーションが進行中

そぞろ歩きが楽しめる温泉街へ

お土産物販売や観光案内所機能を持つ店舗、湯本暮らしを満喫できるシェアハウスなど、物件のリノベーションが進行中で、内覧会に出席した市民らは事業者の説明を聞きながら、生まれ変わる物件や温泉街の姿に胸を躍らせていました。



▲3件の物件は来年3月までには完成予定

3時間耐久レースに挑む

灼熱の中、走り続ける「汗汗フェスタin千畳敷」

8月4日(日)、千畳敷周辺で「汗汗フェスタ2019 in 千畳敷」が行われ、県内外から約600人が出場しました。

旧日置町での開催から数えて今年で26回目となったこのイベントは、千畳敷周辺に設定された1周4、320mコースをマウンテンバイクで3時間走り続け、周回数を競

います。参加者はギラギラとした日射しが差す中、千畳敷内を1周パレード走行した後、加速がついた状態からスタート。その後、障害物として丸太が設置された山道、長く急勾配な激坂などいくつもの難所を3時間もの間、必死に走り続けました。



▲途中設けられたエイドで参加者のサポートを行うスタッフ



▲千畳敷の激坂を必死に登る選手たち

地域活性化の拠点に

7月29日(月)、山口銀行油谷支店がリニューアルオープンし、関係者が出席してテープカットなどの記念式典が行われました。

同支店では、業務の効率化により生まれる店舗内の空きスペースを有効に活用しようと、飲食店を併設しました。

飲食店を運営する株式会社

百姓庵の井上雄然代表取締役社長は「地域活性化の起爆剤として、みんなの語り合う場が必要との思いから、銀行とコラボレーションしました。地域の皆さんに愛される場所になれば」と述べ、完成を祝いました。



▲テープカットでリニューアルを祝う

ラグビーワールドカップ日本大会開幕50日前イベント

元日本代表選手が語る

8月3日(土)、ラグビー元日本代表の中島修二氏とラトゥ・ウィリアム志南利氏によるトークショーがフジ長門店で行われ、約100人が参加しました。

ビーワールドカップの優勝チーム予想が行われると会場が大いに沸きました。

参加した市内の小中学生は「握手してもらったが、手がすごく大きかった。僕はラグビーはしていないが、このトークショーでラグビーに興味を持てた」と語りました。



▲中島氏(写真左)とラトゥ氏(写真右)

長門のPeople

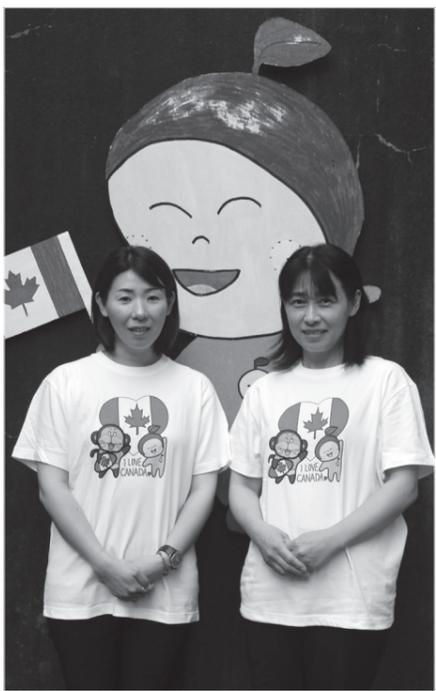
地域全体でカナダ代表チームをおもてなし

林 康子 さん
増野 尚美 さん

「カウントダウンボードや缶

ラグビーW杯2019日本大会の公認チームキャンプ地として、カナダ代表を迎え入れる長門市ですが、俵山地域では俵山公民館を中心におもてなしの準備が着々と進められています。

「俵山のキャラクター、『さるビー』と『ゆずきつちゃん』をデザインしたカナダ応援Tシャツが好評です」と語る増野さん。W杯に関する地域住民からの問い合わせも多く、機運の盛り上がりを感じるところです。



▲左から増野尚美さん、林康子さん

旬な人

「カウントダウンボードや缶バッジの作成のほか、バス停に国旗を立てるなど、みんなで歓迎準備に取り組みました」と林さん。W杯という貴重な機会を思い出に残したいと語ります。

「大羽山交差点から俵山スタジアムまでの通りをカナダ代表チームの皆さんにぜひ観ていただき、地域の歓迎ぶりが伝われば」と二人。W杯本番に向けて、地域一体となったおもてなしに取り組んでいます。



▲8/18にはカウントダウンボードのお披露目式も開催

暑い夏の夜、踊って楽しむ

8月11日(日)、54回目となる長門湯本温泉納涼盆踊り大会が音信川河川公園周辺で開催されました。

会場には多くの人が集まり、盆踊りが始まるまで出店や温泉街の雰囲気を楽しんだ。その後盆踊りが始まると、市内の企業や団体から参加した16チームが、地域住民などから

選出された審査員にアピール

をしながら、「湯本温泉音頭」「いい湯だな」「ダンスングヒーロー」の曲にあわせて踊り、掛け声を出しながら暑い夏の夜を楽しみました。また、盆踊り第一部の終了後に音信川で精霊流しが行われ、訪れた人はその幻想的な光に祈りを捧げていました。



▲夏の暑さに負けず、元気に踊り続ける参加者

入館者が5万人を突破

木育推進拠点施設「長門おもちゃ美術館」

8月13日(火)、長門おもちゃ美術館の入館者が5万人を突破し、くす玉割りなどの記念セレモニーが行われました。

5万人目の来場者となったのは、周南市在住の山田タニエルさんら家族です。記念セレモニーでは、大西市長や長門おもちゃ美術館を運営するNPO法人人と木の岩本理事

長らとともにくす玉を割って達成を祝いました。

山田さん家族は、お盆休みを利用して遠くへ遊びに行こうと長門市を訪れ、長門おもちゃ美術館の訪問は初めてのこと。長女の真矢さんは「積み木など木のおもちゃで遊べて楽しかった」と感想を話しました。



▲長門おもちゃ美術館の5万人は開館以来430営業日での到達